

町内2か所で開催 町民意見交換会

10月17日、20日の2日間、「町民意見交換会」を開催しました。平成30年の「議会報告会」を改め、意見交換を重点におきました。参加者からは、活発なご意見をいただきました。アンケートの内容も含めて、ご意見の一部を要約して紹介します。

10月17日 木野コミセン (参加者9名)

Q. 歩道整備などの地域要望に対する順位付けは？

A. 町の担当者が現場を確認し、緊急性が高い箇所を優先している。

Q. 生活環境の改善のため、議員は住民の目線に立って声を吸い上げ、町政に反映させてほしい。

A. 議会の役割である行政に対するチェック機能を生かし、公平性を担保する。

Q. 高齢者の運転免許証返納に関し、議員は

先進地を視察して町の施策に活かしてほしい。

A. コミバスや予約制乗合タクシーを移動手段として確保しているが課題もある。視察を通じて情報交換し、町とも相談していく。

Q. 18歳選挙権が実施されたが投票率が低い。将来を担う子ども達に主権者意識を育てる取り組みを。

A. 18歳選挙権実施時に、高校生の傍聴や議場コンサートを開き、意識を高める催しを行った。今後も努力する。

Q. 自主防災組織の加入率は？

A. 町全体の組織率は77.2%。総務文教常任委員会でテーマとしており、100%を目指して向上に努める。

Q. 手話条例の制定。また、郷土資料室のあり方については、町民の意見を聞いて進めてほしい。

A. どちらも町民からの要望があるので、議会で議論を深めていく。

10月20日 総合福祉センター (参加者7名)

Q. 高齢化が進み、若い世代が減少する厳しい状況を念頭に、まちづくりを考えてほしい。

A. 町民の生命と財産を守ることを第一。優先順位を定めながら、議会として重要な役割を担っていく。

Q. 限られた財源の中

で新たな要望に応えるためには、ほかの事業をやめる提案も必要ではないか。

A. 住民福祉の向上に視点を置き、今後も行政に対する監視と政策提言を行っていく。

Q. 政務活動費の主な使途は。

A. 会派が行う視察で、先進自治体の取り組みを調査している。

Q. 税金を使う視察な

ら、レポートをまとめて町民に報告すべき。

A. 会派ごとに報告書をまとめ、議会のホームページで公表している。一般質問でも調査の成果を活かしている。

参加者アンケート

◆議員と町民が顔を合わせて交流できることはとても良い。議員3〜4人との交流会で良いので、今後も継続を。

◆昨年の議会報告会は、議員報酬の話題で沢山の参加があったが、今回は少なくて残念。要望や期待を受け止めて、活気ある施策に尽力を。

◆ナイターや休日議会、今回の意見交換会を、広報車で周知できないか。若い世代の関心を高めることは、選挙の投票率向上につながる。

◆町民の声を聞く議会が町づくりにつながるので、地域に向向いてほしい。

◆受付で参加者に住所を書かせたり、行政区を発言させる必要はないのでは？

今後議会としての取り組みを更に進め、議会活性化を図ります。なお、ご意見は要約して掲載しています。

委員会では協議するとされた内容は、今後の議会だよりで審議の結果をお知らせします。また、アンケートのご意見も今後の参考とさせていただきます。

開かれた議会を目指して(総合福祉センター)



開かれた議会を目指して(総合福祉センター)